



# 「切羽前方探査の最前線およびDX時代の地山評価と利活用」講演会

主催：(一財) 災害科学研究所 トンネル調査研究会

後援：(公社) 土木学会 本部、関西支部

(公社) 地盤工学会 関西支部、関東支部

(一社) 関西地質調査業協会、関東地質調査業協会

(一社) 建設コンサルタンツ協会 本部、近畿支部

(一社) 日本建設業連合会

(一社) 日本トンネル技術協会

北海道土木技術会トンネル研究委員会

土木学会CPD認定：3.7単位

(一財) 災害科学研究所トンネル調査研究会では、主に比抵抗探査および弾性波探査を対象とし、トンネル地山の事前調査としての有効性や高精度化ならびに解釈・評価の高度化を目指すとともに、施工段階調査における切羽前方探査にも焦点をあて、トンネル事業の合理的な進め方やトンネル地山の諸地質現象に関する事例調査・分析、施工中のトンネルを利用した現地調査・実験を進めてきました。それらの成果は、「地盤の可視化と探査技術（2001）」、「地盤の可視化技術と評価法（2009）」、「トンネル技術者のための地盤調査と地山評価（2017）」に取りまとめています。また昨年には、「地質・地盤リスクマネジメント」の今後のあり方、方向性などを考える場を設けることを目的として、「地質・地盤リスクマネジメントのこれからを考える」講演会を開催しました。

上記の「トンネル技術者のための地盤調査と地山評価（2017）」を出版して以来約5年経過するとともに、最近ではAIやDXへの対応も各方面でなされている状況下において、トンネル切羽前方探査と地山評価に関する最新の知見を得る目的で、本講演会を企画いたしました。トンネル技術者にとって有意義な機会となると考えております。ご多忙中とは存じますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

## 記

■ 日 時：2022年8月30日(火)、13:00～17:15（接続開始 12:30）

■ 会 場：Web 講習会（※聴講は Zoom ウェビナー利用）

■ 定 員：500名

### ■ プログラム

13:00 - 13:10 開会挨拶

(一財)災害科学研究所 理事長 松井 保

### 第1部：切羽前方探査の最前線

13:10 - 13:15 「第1部の趣旨説明」

京都大学大学院 工学研究科 准教授 武川 順一

13:15 - 13:45 「削孔検層技術のトンネル施工への利活用」

西松建設 技術研究所 副所長 山下 雅之  
鹿島建設 技術研究所 上席研究員 宮嶋 保幸

13:45 - 14:15 「切羽前方探査における湧水評価への取り組み」

鹿島建設 技術研究所 主席研究員 升元 一彦

14:15 - 14:45 「切羽前方探査による地質評価技術の現状と展望」

京都大学大学院 工学研究科 准教授 武川 順一

14:45 - 15:00 「質疑応答」

15:00 - 15:15 <休憩>

### 第2部：DX時代の地山評価と利活用

15:15 - 15:20 「第2部の趣旨説明」

鴻池組 技術研究所 主任研究員 高馬 崇

15:20 - 15:50 「建設 DX 時代における山岳トンネル BIM/CIM」

大林組 技術研究所 スーパーバイザー 畑 浩二

15:50 - 16:20 「AI による地山評価の現状と展望」

安藤ハザマ 土木技術統括部 鶴田 亮介

16:20 - 16:50 「地山評価の DX によるトンネル施工の生産性向上」

大成建設 技術センター 次長 谷 卓也

16:50 - 17:05 「質疑応答」

17:05 - 17:15 閉会挨拶

川崎地質 代表取締役社長 栃本 泰浩

※講演時間、講師等は状況により変更となる場合があります。

- ZOOM リンクおよびテキスト：開催 3 日前頃に、入金確認できた方に各 URL をメール配信します。
- 参加費：3,000 円
- 参加申込み：下記アドレスよりお申し込みください。（申込〆切日は 8 月 23 日（火））  
<https://forms.gle/c7YB9zqhUdXJY646A>  
※個人情報は、当法人が実施・共催を行う事業・会合等の情報提供以外には使用いたしません。
- 振込先：三菱 UFJ 銀行 中之島支店  
普通 0011197 一般財団法人 災害科学研究所  
ザイ) サイガイカガクケンキュウシヨ
- 問合先：（一財）災害科学研究所  
E-mail : saiken@csi.or.jp TEL : 06-6202-5602
- 補 足
  - ・ 開催中止の場合を除き、お振込み後の返金はいたしかねますので予めご了承ください。
  - ・ 出席者の変更は可能です。
  - ・ 動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします。
- 土木学会認定 CPD プログラムの受講証明についての留意事項
  - ・ 参加申込み受付と同じ氏名で講演会当日に受講されたことを確認します。
  - ・ 受講して得られた所見（学びや気づき、100 文字以上）を、主催者「災害科学研究所」へメールでご提出いただく必要があります。所見の書式は自由です。
  - ・ 他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたしかねます。

以上